

東山動植物園 再生プラン

人と自然をつなぐ懸け橋へ

2020年度から2024年度までの主な事業内容





重点テーマ

何度も訪れたいくなる
多様な魅力を持つ動植物園へ

東山動植物園では、2010年度に策定した東山動植物園再生プラン新基本計画に基づき、アジアゾウ舎やゴリラ・チンパンジー舎などの展示施設を始め、トイレや休憩所、民間活力を導入した飲食・物販施設等を整備してきました。

2020年度から2024年度までの第三期事業では、展示施設などの整備に加え、来園者の利便性・快適性の向上や、環境教育の充実を図り、何度も訪れたいくなるような多様な魅力を持つ動植物園を目指してハード、ソフト両面から取り組んでいきます。

主な 整備予定施設

もっと身近に、もっと楽しく、
自然とふれあうことの
大切さを伝えていきます。

アジア ゾーン

アジアの熱帯雨林エリア

熱帯雨林に生息するトラやオランウータンが三次元的
に動く姿を同じエリアにて観察することができます。



アフリカ ゾーン

サバンナエリア

キリン、シマウマ、ライオンなど、エサとなる植物を食べ分
ける草食動物の棲み分けや肉食動物との食物連鎖の関係を
を知ることができます。



東山動植物園 再生プラン取り組み 全体平面図



アメリカ ゾーン

南アメリカエリア

南アメリカにおいて生態系の頂点に位置するジャガー
が樹上で生活する姿や水中での行動を観察することがで
きます。



花と緑の ふれあい ゾーン

お花畑

市民や企業との連携による花壇づくりを実施している
お花畑の丘を、潤いのひとときやにぎわいなど、四季を通
じて多くの人が集う新たな魅力あるエリアとします。



事業スケジュール

事 項	2020年度 (令和2年度)	2021年度 (令和3年度)	2022年度 (令和4年度)	2023年度 (令和5年度)	2024年度 (令和6年度)
アジアゾーン (アジアの熱帯雨林エリア)					
アフリカゾーン (サバンナエリア)					
アメリカゾーン (南アメリカエリア)					
花と緑のふれあいゾーン (お花畑)					
歴史文化的施設の保全及び活用					
重要文化財温室前館					
正門門柱・胡蝶池・噴水					
にぎわいのある快適な園内空間の創出					
正門エントランスゾーン					
園内移動施設					
環境教育・調査研究・種の保存					
東山の森づくり					

歴史文化的施設の保全及び活用

- 重要文化財温室前館
「現存する日本最古の公共温室」である温室前館を、昭和11年の建設当初の姿に復原する保存修理工事と、洋風庭園の整備を一体的に行い、歴史ある植物園のシンボルとして保全・活用します。
- 正門の門柱・胡蝶池・ケヤキの木に囲まれた噴水
開園当初から東山動植物園の顔として広く市民に親しまれてきた正門の門柱などを、正門エントランスゾーンの整備にあわせて保存・活用します。



にぎわいのある快適な園内空間の創出

- 正門エントランスゾーン
地下鉄駅から正門へのアクセスを向上させ、動物園に向かうワクワク感やイベントも行える広場空間などにより、にぎわいを創出します。
- 園内移動施設
広い敷地と丘陵地である園内の各門や主要施設を繋ぎアクセスを向上させ、目的地まで快適に移動できる施設を整備します。
- ITを活用した情報サービス
公衆Wi-Fiによるスマートフォンの利便性を高め、QRコードを利用した多言語対応などの情報提供やキャッシュレス決済化を図ります。



環境教育・調査研究・種の保存

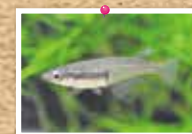
環境教育

- 来園者に動植物を通して「いのち」や「自然環境」の大切さを感じとってもらい、一人ひとりの環境を守る行動が誘起されるような環境教育を進めます。
- 絶滅危惧種の生態や現状について積極的に発信するとともに、動植物を通して生息地域の文化などを知る機会を提供します。
- 新たに動物の福祉に配慮しながら来園者の多様なニーズに対応したプログラムを実施します。
- 重要文化財温室前館において、熱帯植物の形態を見比べる展示を充実させるとともに、洋風庭園においては、水生植物の生態的特徴の分かる展示を実施し、環境教育の場として活用します。
- 動物や植物を見ながら園内スタッフによる解説を聞いて学べるガイドプログラムをさらに充実します。



調査研究

- 他園や大学等との連携により、動植物の基礎資料の収集や飼育・栽培技術の向上、種の保存の研究を実施します。
- 名古屋出身で日本初の理学博士である伊藤圭介の日記解読研究を継続するとともに、関連資料を活用して、植物学における功績を発信します。
- 国内外の動物園や環境省などと連携し、飼育繁殖技術の向上に努め、希少動物の導入や繁殖に取り組みます。
- 東山の森に生息するカスミサシウオやホトケドジョウの保全を図ります。
- 東海地方固有植物の保存をはじめ、国内外他地域固有種の生息域外保全、国内希少野生植物種であるアマミデンダやナガミカズラ、ランの原種などといった貴重な植物の保存展示を図ります。



ティウメダカ

ニシゴリラ

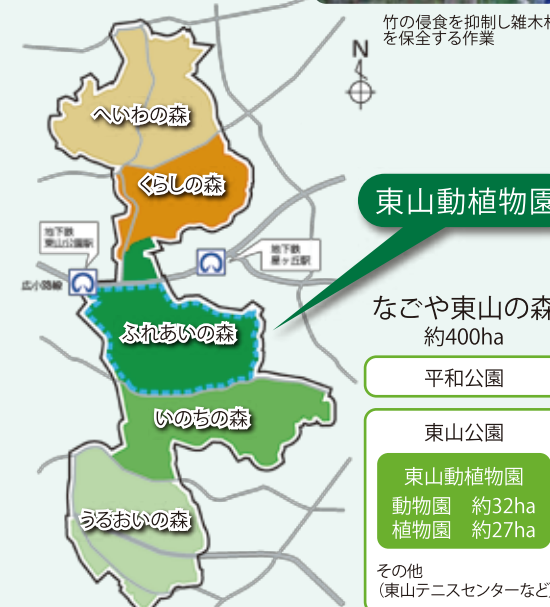
マメナシ

東山の森づくり

次世代に身近な自然のすばらしさや大切さを伝えていけるよう、雑木林や湿地などの保全や再生活動、環境学習や体験学習等を森づくり活動団体と連携して継続的に実施し、東山の森づくりを推進します。



竹の侵食を抑制し雑木林を保全する作業





整備完了

第二期(2015～2019年度)
に整備した主な施設を
紹介します。

ゴリラ・チンパンジー舎

ゴリラとチンパンジーの生息地であるアフリカの森をイメージして整備しました。日本最大級の広さを誇る施設でのびのびと暮らす姿やタワーを利用した樹上生活の様子をご覧ください。



トイレ

多目的ベッドやキッズトイレ、オストメイト対応トイレなど、充実した設備を備えた快適なトイレを園内の各所に整備しました。



中央休憩所

2つのフードコート(ソアシス)をつなぐ、森の中をイメージした約240席の開放的な休憩所を整備しました。休憩だけではなく、フードコートのテラス席やお弁当を広げる場としてもご利用いただけます。



恐竜像

開園1周年を記念してつくられ、多くの市民に親しまれてきた恐竜像を、歴史的資産として、修復・補強するとともに、周辺の整備を行いました。



飲食・物販施設～民間ノウハウの活用～

ズーボゲート

正門のすぐそばにある公式マスコット「ズーボ」の名前が入った施設です。東山動植物園オリジナルのお土産などを販売しており、カフェとしてもご利用いただけます。



ソアシス

動物園(ZOO)の中で、にぎわう憩いの場(OASIS)を提供するという意味を込めたフードコートです。中央休憩所をはさんでウエストとイーストの2棟に分かれており、計7店舗の飲食施設をご利用いただけます。

